

大空間を中心に 放射状に広がる パッシブな保育園



内野輝明さんの

1か月

内野設計(徳島市)



うちの・てるあき |

1963年徳島生まれ。1986年大阪工業大学卒業。大阪、徳島の設計事務所勤務、高崎正治氏に師事した後、独立

工事監理中!

ビーンスターク 保育園 とくしま

(徳島市)

「四季を呼吸する建築」

まずは人間の下地作り 健全な意思を育むこと
人としての背景世界観 まっさらのこどもたち
五感で自然を感じとる 雨風曇天戯れる光と影
ざわめく花鳥草木と人 自然を畏怖を感じ取る
そしてはじめて智へと 徳島の地に建つ幸福を
受けとめ微笑んでいる そんな保育園になろう
人を育み見守る建築を 四季を呼吸する建築を

11月17日(水)

■「七曜の御柱」建立の儀

とっくに建てられてはいるのですが、「Jack's hall」(『ジャックの豆の木』のジャックのホール)の内陣を囲う木柱の調整日です。'日月火水木金土の七柱の方位、角度、立ちをみんなで見ながら微調整。そして「固める」という、いわば儀式の日です。こっちからあっちから、ためつすがめつ「こっちへあと15cm!」とか「ああ、ストップ!」とか言いながら(笑)。儀式は気持ちも空気も高めますね。設計者よりも現場の皆さんの気持ちが、より高いところに。すばらしい!

11月29日(月)

■大きく広がる「Jack's hall」の作業

Jack's hall。つまり「ジャックと豆の木」の、その「ジャック」の名前がついたホールです。七曜の御柱によって高く掲げられた「空の国」の底が、いわば天井、ということになります。これはほんの一部で、大きな大きな空の国の底の中心辺りです。周辺よりも中心部をいくらか下げることで、外へ、空へ、大きく広がっていることをイメージさせようとしています。何人もの大工さんが足場が上がって、ひとつの天井に一齐にかかっている姿は壮観でした!



11月17日 建築部長、現場所長、私ほか、みんなで「御柱」の確認中



11月29日 足場をおとして下から見上げたら…楽しみです!

〈今月の格言〉 いいことばかりはありやしない

いつも、「どうもスムーズにいかないこと」がひとつはあります。すべて順調!である瞬間は、基本的にまあいんです。ひとつ終わったと思ったら必ず次が待っています、そういうことが。「ほなけん、ほなけん(でも、だから)がんばれるんかなあ」と思います。しかしよくよく考えてみると、その「スムーズにいかないこと」の原因の大元は、だいたいやはり自分の行い、仕業であります…。いつもいいことばかりのはずいではないですね、こんなとんでもなく面白くてやりがいのある仕事をやらせてもらっていて(笑)。反省して、また次に進みます!

事務所の特徴

阿波弁まるだしの、四国徳島、阿波踊りの国の設計事務所です。徳島には建築の大学がなく、帰ってくる男子は独立時期。開設当初は女性スタッフばかりでしたが近年逆転。少しは男臭くなりました…。来年も三味線弾くぞ(笑)。